

12 2004
DECEMBER
No.35

大 南

contents

館長エッセイ 宇野 史郎	1
特集：ホームページを活用しよう	2
「図書館実習を終えて」 上野由起子	6
news news	7
シリーズ：利用者サービスのいろいろ② 閲覧サービス	8
staff column 西 一幸	9
informations	9
図書館日誌	10

館長エッセイ

感動をありがとう

16、9、12。この数字は何を意味しているか、お分かりですね。そうです。アテネ五輪で、日本が獲得した金、銀、銅のメダル数です。メダル総数は史上最多の37個に達し、獲得率が約4%という日本スポーツ史に残る躍進ぶりでした。開催期間中、テレビ観戦が深夜から明け方に掛かったものの、あまりにも日本選手の活躍に、時間が経つのも忘れるほどでした。まさに、涙あり、笑いありの感動の連続でした。

競技者や関係者1人1人には、もっと悲喜こもごもの秘められたドラマがあったことでしょう。なかでも、水泳競技女子800m自由形の柴田亜衣選手の泳ぎには驚かされました。これまでの日本選手のイメージを一新するものでした。欧米選手を終盤に追い抜くとは…。見事でした。「コーチに命あずけます」との言葉に、言い知れぬ努力の跡が窺えました。

日本選手の予想以上の活躍の背景には、競技力向上に向けての戦略プランが策定・実施されてきたことを見逃す訳にはいきません。わが国の国際競技力は1964年の東京オリンピックを頂点に、その後長期低落

傾向を辿っていました。政府は「スポーツ振興くじ (toto)」の導入によって、財源確保の見通しがついたこともあり、2000年に「スポーツ振興基本計画」を策定し、10年後の数値目標としてメダル獲得数を1.7%から3.5%に倍増させることを明示しました。この計画に則して、日本オリンピック委員会は国際競技力向上戦略としてのJOC GOLD PLANを2002年に策定し、政策目標達成に向けて競技者の育成・強化に努めてきた訳です。

競技者の個性を尊重しつつ、海外経験をつませることで自信を養うとともに、国際競技力の向上を支援する「国立スポーツ科学センター」を2001年に設置するなど、総合的なサポート体制を整備してきたことが大きかったと思います。今回の快進撃の財産をどのようにひきついでいくか、競技者や関係者の新たな挑戦が始まっていることでしょう。

大学教育の現場もしかりです。学習支援センターとしての図書館も、学生1人1人の個性を大切にしながら、その質的充実に努めていきたいと考えています。

宇野 史郎 (うの しろう)

商学部教授
専門：流通政策
平成16年1月から図書館長
「学習支援センターとしての質的充実に努めたい」



Uno Shirou

特集

図書館のホームページを活用しよう!!

図書館が持つ多くのサービスや機能をより便利に使うためのひとつの方法として、図書館ホームページをもっともっと活用していただくために、今回はおこな項目を紹介しましょう。蔵書検索はもちろん、各種データベースを使った専門的な情報収集、他機関へのリンクなどなど研究や学習に必要な不可欠のものばかり。多くの方のみなさんの利用をお待ちします。

図書館のホームページにアクセスするには――。

▶大学のHPから

<http://www.kumagaku.ac.jp/>

▶情報教育センターのHPから

<http://www.acc.kumagaku.ac.jp/>

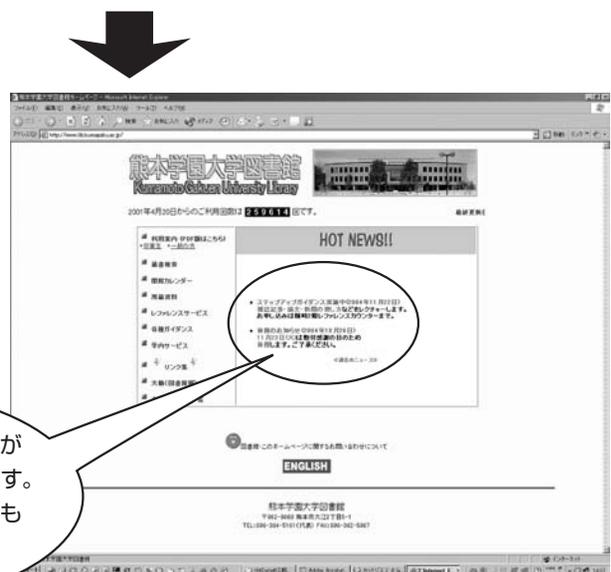
図書館をクリックする



LIBRARYをクリックする

図書館のホームページに直接行くには、下記のアドレスを入力してください。
熊本学園大学図書館ホームページ
<http://www.lib.kumagaku.ac.jp/>

もっとも頻りに更新されるのがこの「HOT NEWS!!」の部分です。重要な連絡が掲載されることもあるので要注意。



ホームページをうまく使うには――。

ホームページには、自宅からでも利用できるOPAC(蔵書検索)やWebcat(NII総合目録データベースwww検索サービス)など便利なサービスがいろいろ紹介されています。図書館内や学内であればもっとサービスの範囲や種類が多くなります。是非使いこなしてください。なお、ホームページは随時、更新されています。

<ホームページの使い方いろいろ>

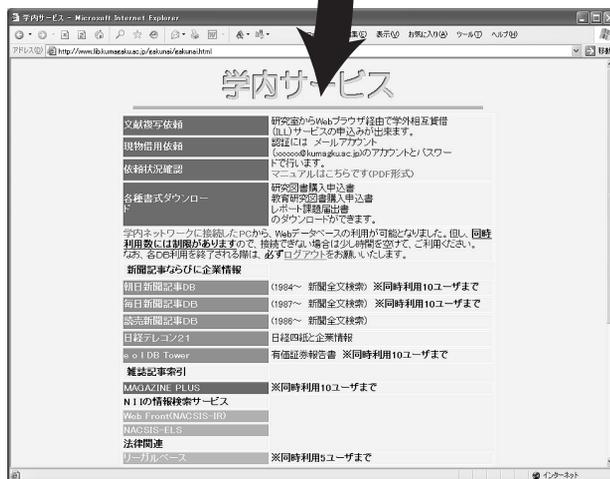
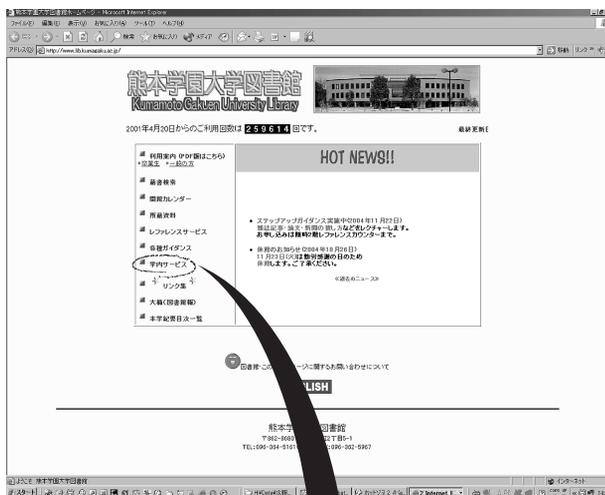
- ・お知らせ(ニュース)を確認する
- ・開館時間や休館日を確認する
- ・自宅から本を検索する
- ・本のある場所を確認する
- ・図書館報を読む
- ・ネットサーフィンのベースにする
- ・新聞記事を読む
- ・雑誌の記事を探す

<トップページメニュー>

- ①利用案内：開館時間や休館日、貸出返却など図書館を利用するときの最も基本的な事項について案内
- ②蔵書検索：本学図書館の蔵書を検索
- ③開館カレンダー：年間の開館休館予定
- ④所蔵資料：本学図書館所蔵の資料一覧
- ⑤レファレンスサービス：サービス内容やレファレンスツールを紹介
- ⑥各種ガイダンス：図書館主催のガイダンスを紹介
- ⑦学内サービス：データベースなど学内からアクセスして利用できるサービスの紹介
- ⑧リンク集：館内外、関連サイト一覧
- ⑨大楠(図書館報)：館報の記事を掲載
- ⑩本学紀要目次一覧：本学発行の研究紀要5誌についての目次一覧

<学内サービスメニュー>

- ①文献複写依頼
- ②現物借用依頼
- ③依頼状況確認
- ④各種書式ダウンロード
- ⑤新聞記事ならびに企業情報
- ⑥雑誌記事索引
- ⑦NIIの情報検索サービス
- ⑧法律関連
- ⑨専門分野文献情報
- ⑩英語辞典
- ⑪電子ジャーナル一覧
- ⑫『Source OECD』の利用
- ⑬雑誌情報(紀伊國屋)



「学内サービス」では様々なデータベースを提供していますが、図書館で契約しているデータベースは学内LANに接続されたパソコンでのみ利用できます。学外からの利用はできませんので、ご注意ください。

<代表的データベースの詳細は4頁・5頁を参照>

就職活動に利用するには――。

年々、早期化する就職戦線。就職課には各種のデータが豊富にそろっていますが、図書館も情報収集に使いましょう。正確で信頼できる最新の情報をキャッチするために。



◀ eol DB Tower Service (有価証券報告書)

全国証券取引所およびJASDAQ上場企業(約3,700社分)の1984年1月以降の有価証券報告書・半期報告書が利用(閲覧、印刷、保存)できるサービス。従来の冊子体は製本版により保管。



▶ 日経テレコン21

日本経済新聞社提供の会員制ビジネス情報サービス。1975年からの日経4紙が検索可能。新聞・雑誌記事、企業情報や人事情報、マーケット情報や各種専門情報など幅広い分野のリソースを確保。

日経テレコン21の講習会を開催

今年度初の試みとして、就職課と共催で「日経テレコン21」の活用講習会が、12月1日情報教育センターのパソコン教室で開催され、約80名が参加した。これは就職活動対策のひとつとして3年生を中心に参加を呼びかけたもので、就職活動に必要な情報のイロハから情報収集のコツまで、データベースの「日経テレコン21」のより実践的な使い方が伝授された。就職課では、すでに夏休み前から3年次への就職ガイダンスを実施しており、本格的に就職活動を始めている学生にとっては、情報収集のツールを使いこなす絶好の機会となったようだ。

図書館・就職課 共催

就職活動の必須ツール

『日経テレコン21』活用講習会

―就職活動対策の一つとして―

3年生中心(1,2,4年生の参加可)

まずは企業研究
から始めよう!!



日時：平成16年12月1日(水)

①13:30～14:30

②14:40～15:40 ※①、②内容は同じ

場所：121(第1パソコン室)

定員：各50名

申し込み：就職課へ

※定員になり次第締め切ります

学習や研究に役立てるには――。

MAGAZINEPLUS ▶

672万件の雑誌記事情報、戦後国内の学術雑誌が刊行した人文社会系の年次研究報告や学術論文集8,000冊、47万件の論文タイトル情報など総計719万件の雑誌論文が一括検索できる情報データベース。



◀朝日新聞記事データベース

1984年以降発行当日の記事まで収録。地方版、「AERA」「週刊朝日」もカバーしている。このほか一般紙では読売新聞、毎日新聞が利用できる。熊本日日新聞は2005年春以降、専用の記事データベースが公開される予定。

リーガルベース▶

リーガルベースインターネット版は、日本法律情報センターがインターネット上で提供する会員制の法的総合データベース。(判例・コメント・法令) このほか、「判例体系」は、図書館内の特定端末での利用となります。



上記のほか、無料で利用できるデータベースや、2階レファレンスカウンターで代行検索する「DIALOG」や「G-Search」などがある。



図書館実習を終えて

経済学科4年 上野由起子

大学の図書館が勉強しやすい環境であることは、学生が多く利用することにも表れています。利用者が気持ちよく利用できるようにというのも図書館の業務がしっかり繋がっていて、一つのサービス業として徹底されているからだと感じました。大学図書館なのに一つの会社のような印象を受けました。

いつも利用する立場からするとカウンター業務が図書館というイメージが強く、本も受入れから配架まで自分の気づかないうちに自動的に並べられていたように思っていました。しかし、

図書の選書から配架まで人の手でひとつひとつ仕事は処理・管理され、それぞれの仕事の大変さ、また利用者の手に届くまでの図書の流れを理解することができました。

本学の図書館は午後11時までと開館時間が長く、一般の方にも開放されています。ジャンルと蔵書数も多く、他大学生も紹介で来ると聞きます。地域に密着している図書館のように感じました。しかし何より、本学の学生や先生、大学院生を対象に大学図書館としての役割に最も力を入れていることを、実習をと

おして理解することができました。

図書の選定基準というのはそういうことを大事にしてあり、学部に沿った内容であること、最近の社会にも目を向けてあるものです。私も実際選書をしてみて難しく感じました。学生のためになるものというのが重要です。そのため、委員会を設けて話し合い、決定することには納得がいききました。また、先生や院生が必要とする研究用図書、学生がリクエストした図書を積極的に採用していくという点は、一般的な図書館とは違う、大学図書館としての要素だと思いました。この選書という作業は実習の中でも私が大学図書館の意味をよく理解できたことでした。

実習を通して講義では分からない所を理解することができたと思います。普段見ることのない資料を見ることもでき、大学

平成16年度 図書館実習プログラム概要

	土 9:00 ~ 12:30	朝礼 8:50	月 9:00 ~ 17:00	火 9:00 ~ 17:00	水 9:00 ~ 17:00	木 9:00 ~ 17:00	金 9:00 ~ 17:00
グループA	オリエンテーション 図書館概要 図書館システム 実習の目的と動機 について(懇談)	サービス部門	①閲覧係コース 貸出・返却/閲覧室の利用・管理全般 /書庫内作業	共同作業 不明図書の調査 地下書庫の配架 点検	管理部門	選書 購入依頼 発注 受入 支払 第一装備 目録書誌集成作成 分類 著者記号 番号採番 第二装備	重複チェック 納品チェック 郵便物の振り分け 雑誌の発注・支払い 非売品資料の調査 装備
グループB			②AV・雑誌係コース カウンター業務/視聴覚資料の整理/ 雑誌、新聞の受入・配架/雑誌製本				

中学生が体験学習

9月8日から10日まで3日間にわたり、熊本市立帯山中学校の生徒12人の職場体験学習を、昨年に引き続き受け入れた。

これは阪神大震災後、兵庫県から始まり、その後全国的に広まっている学習で、熊本市では平成12年度からすべての市立中学校に導入されているもの。2年生を対象学年に、将来の職業生活に備え、望ましい職業観と勤労観の基礎を養うことを目的とした“社会人体験”を、授業の一環として行われている。

期間中は男子4名、女子8名の2

年生が閲覧業務や目録業務などを中心に体験学習に臨んだ。初日は実際の業務に就く前に、図書館の基本的な使い方を知ってもらおうとOPACとインターネットの操作検索方法の説明も行われた。また、今回初めて貸出返却業務を体験し、番号読み取りに悪戦苦闘、照れながら利用者に接する姿が初々しかった。1階フロアだけで10万冊余を配架してある大学図書館の規模の大きさや、CDやDVDが自由に視聴できるAVコーナーにも大きな関心を持ったようだ。

ふだんは大学生や社会人のカジュアルな服装だけのフロアに、制服着用の中学生在が懸命に配架点検する姿



4階目録作業室で

が印象的だった。

終了後は生徒の写真入りハガキで、「ひとつひとつ僕たちの質問に答えていただきありがとうございました。いつもは体験できないこともあったのでいい経験ができました」との礼状が届けられた。

熊本県大学図書館協議会で研修

10月8日午前10時30分から、世話館である本学図書館でAVホールを会場に熊本県大学図書館協議会セミナーおよび実務者研修会が開催された。当日は県内国公私立大学や短大、高専から20人が参加した。これは、熊本県大学図書館協議会が主催して毎年、情報交換や図書館職員の資質向上のために開いているもので、今年度で10回目。

午前は崇城大学図書館長の梶谷尚氏による「図書館をもっと身近に」

と題したセミナーが開かれた。小学校時代からの本や図書館との関わり、戦後日本の学校教育、社会教育と図書館の歴史、現在の図書館を取り巻く状況、大学図書館に期待するものなど多くの資料を紹介しながら、図書館を概括した。

午後は関口正春氏（京都精華大学企画課長）が「大学所蔵資料のデータベース化について」と題して、大学におけるデータベース構築の目的や、教育や研究の支援がどうあるべきか、



京都精華大学・関口正春氏

構築するデータベースに求められる機能や活用できる外部資金などについて自身の経験を踏まえた実践的、総合的動向が紹介された。

図書館実習生を受け入れ

司書および司書教諭資格の取得をめざす本学学生の図書館実習を、10月16日から11月13日からの2期に分けて各々1週間、合計33名を受け入れた。

本学では司書及び司書教諭資格取得のための課程が第二部（夜間部）を除く全学科に設けられており、図書館特論（図書館実習・1単位）は司書資格の選択科目になっている。

本学学生は例年この時期に受け入れているもので、今年も秋学期授業期間に、発注・受入から閲覧業務ま

で各係で実務を実習した。サービスを提供する側に立った実習生にとって、利用者の目に触れない業務や、地下書庫、目録フロアなどの図書館の様子が新鮮な驚きをもって受け止められたようだ。図書館では、毎週月曜日の午前8時50分から全スタッフによる業務連絡を兼ねた朝礼が行われているが、期間中は実習生も月曜日の朝礼に参加し、図書館業務の一端を早速体験した。

実習終了後の総合的反省やアンケートでは、「達成感があった。きつか



1階カウンターで業務引継

ったが、実習を受けてよかった。講義での知識を生きたことばにすることができた。資格取得をめざすなら、全員が経験したがよい」など、積極的な評価が数多くみられた。

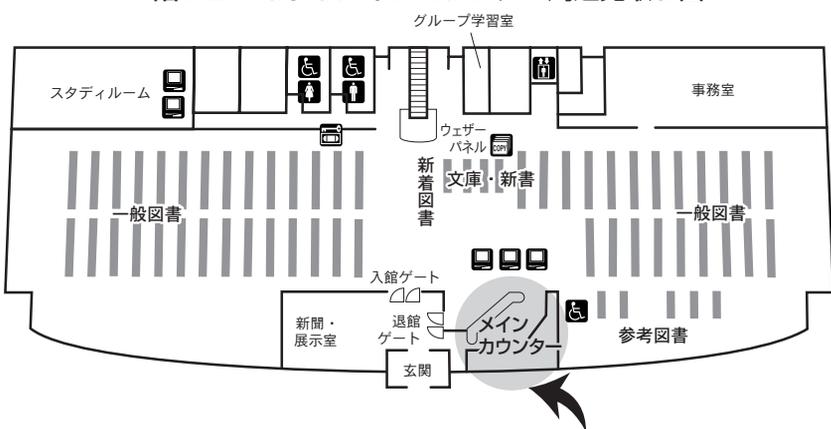
シリーズ 利用者サービス②

閲覧サービス

メインカウンターでは、貸出・返却などのカウンター業務のほか、皆さんが求める資料をすばやく探すことができるよう、書架整理、各コーナーの維持・管理など使いやすい図書館であるための環境整備に努めています。また、図書館の玄関として学外者の方の利用受付、図書館カード発行を行っています。

利用者の皆さんにいちばん身近なところでは、小さなこと、わからないこと、何でもご相談ください。また、皆さんの声を生かせる図書のリクエスト制度や意見箱も大いにご活用ください。

1階フロアおよびメインカウンター周辺見取り図



おもなサービス

- ・ 図書館資料の貸出および返却に関すること
- ・ 研究用図書の貸出に関すること
- ・ 蔵書点検および事故図書の処理に関すること
- ・ 閲覧室の利用ならびに管理に関すること
- ・ 図書カードの発行に関すること

1階メインカウンターは、入館ゲートのすぐ右側にあります。毎朝8時30分、朝刊各紙を専用の新聞ボックスに入れることからカウンターの業務が始まります。検索端末を立ち上げ、閲覧デスクを拭き、配架点検を始めるころには1時間限りの授業に出席する学生たちが姿を見せ始めます。午後11時、キャンパスのなかで唯一、煌々としていた3階までの明かりが消されると、あたりは深い夜のしじまに包まれます。

* 利用者の声 *

国際経済学科 4年
日下部美佳



Q. どういう利用をされていますか？

小さいときから本を読むことが好きだったので、授業の空き時間や終了後に小説などを読みに来ます。授業のある日は必ず図書館に立ち寄って、1階のフロアで読書をして過ごすことが多いですね。それに就職活動中は就職関連の本もよく利用しました。SPI問題集や面接の本はたいへん役に立ちました。

いま卒論作成中ですが、2階の雑誌もよく利用しています。

Q. 利用してよかったことは何ですか？

本がこれだけ揃っているとどれも読んでみたいと思ってしまいます。レポートや卒論作成などにも資料が充実していることは、大きな魅力です。それから、夜遅くまで開館しているのも、レポートの作成時期などたいへん助かりました。図書館は、私にとってとても落ち着ける場所で、ひとりでもまったく苦になりません。

Q. 4月から図書館サービスが変わりましたが、感想は？

開館時間の延長は、資格試験の前

など勉強するのにとても都合がよかったし、社会人の方も仕事が終わってゆっくり利用できて、利用者増につながっていると思います。貸出期間の延長・冊数制限がなくなったことは、集中して何冊も読む私にとって、じっくり余裕をもって読めるようになり大変ありがたいと思っています。

Q. 何か要望はありますか？

雑誌の貸出を短期間でいいからやってもらえたらと思います。1階の雑誌はゆっくり読みたいし、2階雑誌もコピーして利用しましたが、結構大量のコピーになって大変でしたので。その他は資料も充実して必要な資料もすぐ揃うので、特に要望としてはありません。

「？」が足りない

『平成16年10月、「新図書館竣工10周年!!」。利用者数は年々ウナギのぼり。毎日大繁盛。』企業ベースなみに、これくらいのキャッチコピーで図書館10周年祝賀パーティを開催する景気があればいいんですが…ね。

10年間で変わったこと

一般利用者が増え、学生の利用者は減ったこと。AV資料（映像）がVTRからDVD形態となった。図書館システムが3回更新された。館員スタッフが10年前のメンバーからほぼ全員、入れ替わってしまった。地下消火設備が変更された。自習利用するスペースにPCが増

設された。資料が増えたが、一度も利用されたことのない資料も増えた。参考資料（辞書）の当日貸出は大盛況となった。

10年間で変わらないこと

空調の悪さでフロアの寒暖差が大きい。図書館マナー（おしゃべり自粛・飲食禁止・携帯電話の通話禁止）は守られない。開架図書スペースは竣工当時のまま。DB化されてしまった図書目録カードが何故かある。いまだに竣工当時の入館管理ゲートを利用している。資料書きこみをする利用者は減らない。

大事小事こもごもですが、サービスの基本方針に変更はありません。

広く地域へ開かれた図書館は、定期試験前の利用制限期間を除いて、一般利用者・卒業生へ最高の自習環境を提供し、資料収集も多岐にわたり行われています。

サービス提供の意見や要望をきくため「意見箱」を設置していますが、「クレーム受付箱」と化した現状。多くの利用者へより良いサービス提供の提案を望めないのは、10年来変わらぬ大きな流れかも知れません。「資料+場所+? = より良いサービス」の、「？」の部分が個人で千差万別・多種多様ですが、資料提供形態における電子化・インターネットを利用したDB検索サービスといったことから、館内インフラの見直しまで「次代にあわせた図書館づくり」が大きな課題と思われる今日このごろです。

（図書課課長補佐 西 一幸）

informations

卒業予定者の図書館カード発行について

平成17年3月卒業予定の方で、17年度の通年利用を希望される場合は次の要領で図書館カード発行の手続きをお取りください。カードは17年4月1日以降の郵送となります。

〈受付時間〉月曜日～土曜日 9:00～21:00

〈受付開始〉卒業判定発表により卒業が確定した日から（平成17年2月下旬以降）

〈申込みに必要なもの〉

本人であることを証明するもの
（運転免許証・パスポート・保険証など）

※詳細は図書館1階メインカウンターにお問い合わせください。

TEL: 096-364-5161（内線1701）

参考文献・問題集コーナーを新設

今年8月から、1階特設コーナーにシラバス掲載の参考文献を、2階目録カードボックス横に各種問題集・参考図書のコーナーを設けています。

参考文献については、各学部のシラバスに掲載されている参考文献を1カ所に集めることで、授業などの学習のためにより使いやすくしようと設置されたものです。ただし、絶版や品切れなどによりシラバスに掲載されている参考文献すべてが展示されているわけではありません。貸出可。

一方、各種問題集・参考図書は、この間の資格試験対策や就職試験、公務員試験対策などのために図書館にも置いてほしいというつよい要望に応えたもの。館内利用のみとなります。いずれも多くの皆さんの利用をお待ちします。

見学者

16.4.14

熊本短期大学第3期卒業生 41名
4.22 附属敬愛幼稚園保護者 22名
5.20 中国工商银行(中国) 5名
5.21 中国広西師範大学(中国)
6名

5.25 八代農業高校 41名
5.28 九州学院高校 9名
5.28 黒石原養護学校 5名
6.5 大田大学校大学院生(韓国)
21名
6.10 高森高校 11名
6.22 附属敬愛幼稚園 145名
7.5 南稜高校 41名
7.5 荅明高校 30名
7.7 南関高校 21名
7.9 翔陽高校 6名
7.15 小国高校 35名
7.19 オープンキャンパス 400名
8.1 人吉高校PTA 12名
8.1 天草高校PTA 12名
8.4 大分西高校(大分) 42名
8.4 荒尾高校 24名
8.4 水俣高校 11名
8.4 竹田高校(大分) 29名
8.24 済々黌高校 17名
8.27 御船高校PTA 42名
9.15 龍谷高校(佐賀) 89名
10.3 税務会計研究会 10名
10.6 第一高校PTA 42名
10.7 開新高校 31名
10.12 東陵高校PTA 24名
10.13 湧心館高校 85名
10.23 オープンキャンパス 123名
10.27 日本スポーツ障害者協会
3名
11.8 鎮西高校 5名

行事

16.4.6 入学式
4.7 学部新入生図書館オリエン
テーション
4.8 大学院新入生図書館オリエン

ンテーション

4.15 図書館委員会
4.19～6.24 学部新入生図書館
ガイダンス
4.30～ 学部生ステップアップガ
イダンス
5.7 熊本県大学図書館協議会総会
5.25 図書館委員会
6.5 インターライブラリー親善ス
ポーツ大会
6.8 図書館委員会
6.15 図書館委員会
6.29 図書館委員会
7.3 熊本地区保護者懇談会図書
館開放
7.19 オープンキャンパス図書館
開放
7.25 春学期定期試験特別開館
7.28～10.5 地下書庫消火設備改
修工事
8.3～9.25 夏休み特別貸出
8.18～8.21 夏期休暇特別開館
9.8～9.10 帯山中学校ナイス
ライ(図書館体験実習)受入
10.8 熊本県図書館協議会セミナー
学生懸賞論文募集締切
10.16～10.22 図書館実習(第1
期)受入
10.23 オープンキャンパス図書館
開放
10.26 図書館委員会
11.13～11.19 図書館実習(第2
期)受入
11.16 学生懸賞論文選考委員会

出張・研修

16.4.22
私立大学図書館協会西地区部会
九州地区協議会 福岡
6.9～6.11 目録システム講習
東京
6.10～6.11 私立大学図書館協会
西地区部会総会 大阪
6.30 私立大学情報教育協会・電子
著作権処理事業説明会 東京
7.8 熊本県図書館協議会理事会

熊本県立図書館

8.25 大学図書館司書主務者研修
会 東京
9.10 私立大学図書館協会西地区
部会九州地区研究会 福岡
9.17 私立大学図書館協会総会
東京
10.7～10.8 著作権セミナー
大分
10.8～10.9 私立大学図書館協
会西地区部会研究会 京都
10.27～10.29 全国図書館大会
高松
11.12 5大学図書館職員研修会
九産大



編集後記

▷キャンパスが銀杏の輝きとともに
最も充実した姿をみせる季節がも
うすぐ終わろうとしています。来
る年も実り多きものでありますよ
うに。
▷この春にリニューアルして2号目、
第35号をお届けします。

大楠

第35号

2004年12月17日

編集・発行/熊本学園大学付属図書館
〒862-8680 熊本市大江2丁目5番1号
TEL (096) 364-5161 FAX (096) 362-5967
http://www.lib.kumagaku.ac.jp/